

オンライン講演会 朗読とお話

支える側が支えられるとき

～認知症の母が教えてくれたこと～



写真提供：長崎新聞社

ふじかわこうのすけ

講師 藤川幸之助先生

藤川幸之助氏 プロフィール

詩人・児童文学作家／日本児童文学者協会会員。1962年、熊本県生まれ。小学校の教師を経て、現在は、詩作・文筆活動に専念。認知症の母親の介護経験をもとに、命や認知症を題材にした作品を作り続けている。また、認知症への理解を深めるため全国各地で講演活動を行い、介護の大変さ、喜び、気づきを伝えている。作品や活動は、「天声人語」などの多くの新聞やNHKハートネットTVなどのメディアでも取り上げられている。

■日時：令和3年 10月30日（土）午後2時～4時

■参加申し込み先：kumacare@h-aisei.or.jp

■参加無料

件名（藤川先生講演会参加申し込み）氏名・所属・職種を記入のうえ上記までお申し込み下さい。

定員：100名（先着順）申し込み期限：10月25日正午まで申し込み受付後、招待メールをお送りします。

扉^{とびら}

藤川幸之助

認知症の母を
老人ホームに入れた。

認知症の老人たちの中で
静かに座って私を見つめる母が
涙の向こう側にぼんやり見えた。
私が帰ろうとすると
何も分かるはずもない母が
私の手をぎゅっとなつかんだ。
そしてどこまでもどこまでも
私の後をついてきた。

*

私がホームから帰ってしまおうと
私が出ていった重い扉の前に
母はぴったりとくっついて
ずっとその扉を見つめているんだと聞いた。

それでも

母を老人ホームに入れたまま

私は帰る。

母にとっては重い重い扉を

私はひょいと開けて

また今日も帰る。

『満月の夜、母を施設に置いて』（中央法規）